

令和4年度 赤佐小学校評価

◎主体的に学ぶ

- 自分事として学びの意味や価値が分かる
- 自分の考えや思いをもって、聞く・話す
- 話し合いを通して納得解にたどり着く

◎自分らしく輝く

- 明るい挨拶ができる
- 自分のことが好きである
- 友達のよさが言える
- 進んで多くの友達と関わる

◎健やかな心・体をつくる

- 笑顔で元気に学校生活を送る。
- 進んで体を動かす。
- 目標に向かって最後まで頑張る。

1 自己評価

○ 児童の評価

		7月	12月
1	わたしは、自分から進んで挨拶をしている。	82%	84%
2	わたしは、笑顔で、元気に生活をしている。	88%	89%
3	わたしは、委員会や学級の係で、学校や学級をよりよくするよう、進んでアイデアを出したり、実行したりしている。	68%	70%
4	わたしは、周りの人を思いやり大切にすることができている。	86%	90%
5	わたしは、自分のことが好きである。	81%	97%
6	先生は、自分のよさが分かるように、よいところを認めほめてくれる。	89%	89%
7	おうちの人、自分のよさが分かるように、よいところを認めほめてくれる。	91%	93%
8	わたしは、「やってみたい」「考えてみたい」「できるようになりたい」という気持ちをもって授業で勉強をしている。	85%	88%
9	先生は、学習で使うものを工夫し、楽しい授業をしている。	89%	92%
10	わたしは、家で、学年×10分間は勉強をしている。	74%	73%
11	わたしは、朝読書で一冊読み切るまで同じ本を読んだ。	81%	78%
12	わたしは、自分の健康や安全に気を付けて生活している。	91%	93%
13	わたしは、体育の授業や休み時間には、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている。	82%	82%
14	わたしは、困ったときに相談できる先生がいる。	82%	86%

○ 保護者の評価

		7月	12月
1	お子さんは、自分から進んで挨拶をしている。	71%	75%
2	お子さんは、笑顔で、元気に学校生活を送っている。	91%	92%
3	お子さんには、主体性が育っている。	67%	75%
4	お子さんは、周りの人を思いやり大切にすることができている。	94%	95%
5	学校は、子供たちが自分のよさを見付けられるように、よいところを認め褒めている。	87%	89%
6	家庭で、お子さんが自分のよさを見付けられるように、認め褒めている。	90%	93%
7	お子さんは、「やってみたい」「考えてみたい」「できるようになりたい」という気持ちをもって学習に取り組んでいる。	71%	76%
8	教職員は、子供の興味・関心を高めたり、生活場面を意識したりした授業を工夫している。	88%	89%
9	お子さんは、家で、学年×10分間は勉強をしている。	61%	57%
10	家庭学習は、基礎基本の定着につながっている。	75%	78%
11	お子さんは、家で読書の話をすることがある。	44%	48%
12	お子さんは、自分の健康や安全に気を付けて生活している。	84%	84%
13	お子さんは、体を動かすことを楽しみ、目標をもって運動に取り組んでいる。	80%	80%
14	学校は、便りやブログなどで学校の方針や子供たちの様子を家庭に伝えている。	90%	88%
15	学校は、子供のことについて相談がしやすい。	77%	80%

○ 職員の評価

	7月	12月
1 子供たちは、自分から進んで挨拶をしている。	34%	57%
2 子供たちは、笑顔で、元気に学校生活を送っている。	97%	93%
3 子供たちは、委員会や学級の係で、学校や学級をよりよくするよう、進んでアイデアを出したり、実行したりしている。	84%	93%
4 子供たちは、周りの人を思いやり大切にすることができている。	88%	90%
5 自分は、子供たちが自分のよさを見付けられるように、よいところを認め褒めている。	100%	97%
6 子供たちは、「やってみたい」「考えてみたい」「できるようにになりたい」という気持ちをもって学習に取り組んでいる。	82%	89%
7 自分は、子供の興味・関心を高めたり、生活場면을意識したりした授業を工夫している。	94%	82%
8 自分は、授業を大切に、学ぶ喜び・分かる喜びを感じる授業を設定している。	100%	93%
9 子供たちは、家で決められた課題(宿題)をしている。	91%	86%
10 自分は、基礎基本の定着につながる家庭学習に取り組ませている。	97%	93%
11 子供たちは、朝読書で一冊読み切るまで同じ本を読んでいる。	62%	65%
12 子供たちは、自分の健康や安全に気を付けて生活している。	75%	89%
13 子供たちは、体育の授業や休み時間には、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている。	91%	93%
14 自分は、便りやブログなどで学校の方針や子供たちの様子を家庭に伝えている。	72%	68%
15 自分は、子供たちにとってよき相談相手となったり、保護者の要望に適切に対応したりしている。	97%	85%

3 今後の改善方策

- ◇ 本年度も「あかるい挨拶 かがやく笑顔の さくらっ子」を合言葉に様々な活動に取り組んできた。少しずつではあるが、校内・校外での挨拶の輪が広がっている。来年度も引き続き、挨拶への取り組みの推進を図っていく。
- ◇ キャリア教育を取り入れた教育活動を行い、基礎的・汎用的能力の『4つの力』について浸透してきた。夢と希望をもって自分らしさを大事にした子供の育成をさらに進めていく。
- ◇ 家庭での学習時間が少ない。家庭学習の手引きなどを再検討したり、PTA総会などで話をしたりして、家庭での学習時間を増やしていく。また、宿題のやり方(プリント裏に答えを載せる)が定着し、学習効果は上がっている。自主学習などの取り組み方を工夫する。

○ 学校運営協議会委員の評価

	7月	12月
1 子供たちは、自分から進んで挨拶をしている。	67%	80%
2 子供たちは、笑顔で、元気に生活をしている。	100%	100%
3 子供たちには、主体性が育っている。	100%	78%
4 子供たちは、周りの人を思いやり大切にすることができている。	100%	100%
5 学校は、子供たちが自分のよさを見付けられるように、よいところを認め褒めている。	89%	100%
6 子供たちは、「やってみたい」「考えてみたい」「できるようにになりたい」という気持ちをもって学習に取り組んでいる。	89%	78%
7 教職員は、子供の興味・関心を高めたり、生活場면을意識したりした授業を工夫している。	100%	100%
8 子供たちは、自分の健康や安全に気を付けて生活している。	100%	89%
9 子供たちは、体を動かすことを楽しみ、目標をもって運動に取り組んでいる。	100%	89%
10 学校は、便りやブログなどで学校の方針や子供たちの様子を家庭に伝えている。	89%	100%
11 学校は、子供たちにとってよき相談相手となったり、保護者の要望に適切に対応したりしている。	100%	100%

2 学校関係者の評価(2月22日に開催した学校運営協議会より)

- ・地域でのあいさつは、年々よくなってきている。
- ・学校教育目標や運営方針を理解し、良いところと改善したほうがよいところを明確にし、意見交換ができてよかった。
- ・学校と地域がつながり合うことが必要である。人から人へのつながりを大切に、地域の人達をうまく巻き込んでいきたい。